

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立下川沿中学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	◎		
②思考力・判断力・表現力の育成	○		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		一人一人のよさの発揮 ・道徳の時間等における個人を尊重し、よさを認めた上での発言 ・他のよさを認め、一人一人が活躍できる場の設定	3 (3)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	◎		
		授業改善の推進 ・常に生徒に課題意識をもたせて進める授業 ・少人数学習を含めた指導方法の工夫・改善	3 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携部会等で授業交流の実施 ・指定訪問(社会・数学・理科・英語)における授業公開 ・北教育事務所指定の道徳の授業公開 ・前期・後期1回ずつのオープン授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ (◎) ◎ (◎) ◎ (◎) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携では、共通実践できることなど確認できた。 ○オープン授業でも、学年体制での道徳授業を組み込むことができ、道徳の授業についても考えることができた。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを、伝え合ったり高め合ったりすることができる指導方法の工夫 ・少人数学習の効果的な指導方法やTTの在り方の工夫 ・総合的な学習の時間の「探究活動」「社会に向けての発信」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ (○) ○ (▲) ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを整理して発言したり、友達の良いところを見つけたりする力は高まってきた。 ▲発言が単発に終わってしまうことが多く、高め合うということに関しては、今後も引き続き課題である。 ○各学年の実態に応じて、学習方法や形態の工夫ができた。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)